

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和4年4月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）、騒音・低周波空気振動】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9
3. 騒音・低周波空気振動	II - 10

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和4年4月（大気質、水質、騒音・低周波空気振動）の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

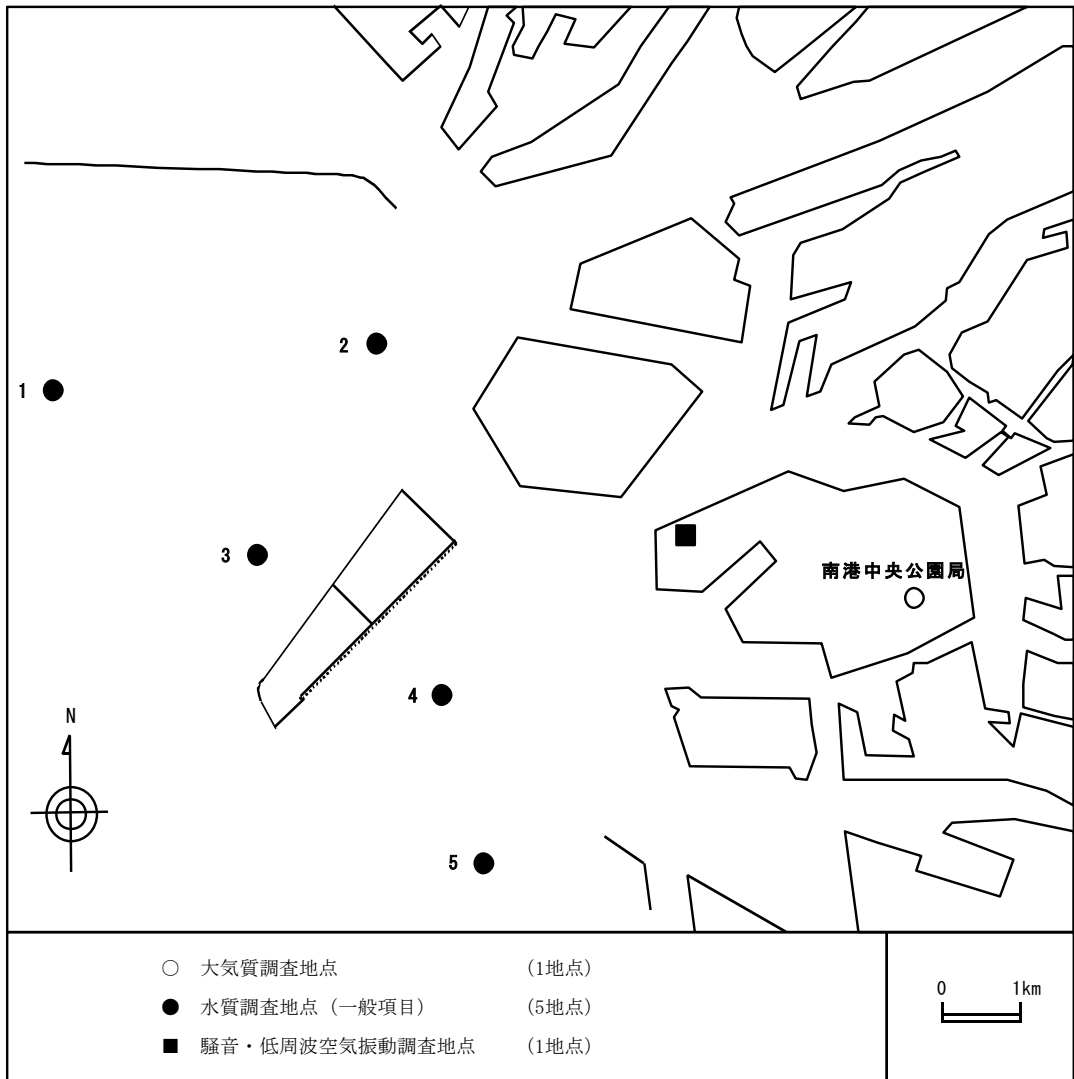
調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	4月1日～30日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層: 海面下1m 下層: 海底面上2m	4月21日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

表-1(3) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 騒音・低周波空気振動）

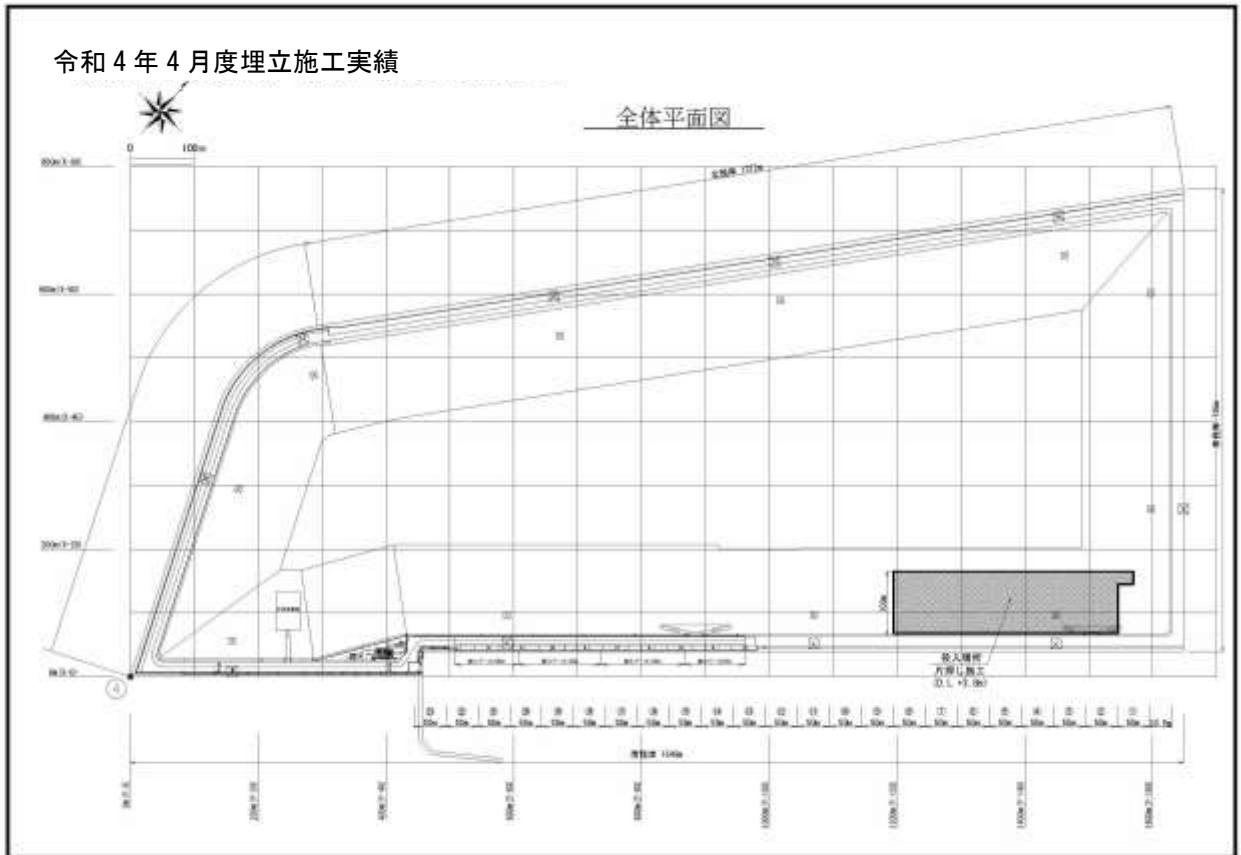
調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波空気振動音圧レベル	1点(大阪南港野鳥園)	4月27日～28日	2回/年 (4月、10月)



図一1 大気質・水質(一般項目)、騒音・低周波空気振動の調査地点

2. 工事の実施状況

令和4年4月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
6,497,086	46.5

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.003ppmであった。また、日平均値の最高値は0.007ppm、1時間値の最高値は0.010ppmであり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.020ppmであった。また、日平均値の最高値は0.034ppmであり、環境基準値を下回っていた。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.016mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.031mg/m³、1時間値の最高値は0.056mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.4～8.5、下層は 8.0～8.1 であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 1 (8.4)、調査地点 2 (8.4) 調査地点 3 (8.5)、調査地点 4 (8.5) 及び調査地点 5 (8.4) であった。調査日 (4/21) は調査海域で赤潮は確認できなかったにもかかわらず透明度が低く、溶存酸素量、全窒素、全磷及びクロロフィル a の値が高いことから、植物プランクトンが異常発生していたと考えられ、植物プランクトンが光合成を行う際に消費する炭酸水素イオン (HCO₃⁻) の減少に伴い水素イオン(H⁺)も減少することで pH 値が上昇したものと考えられる。なお、事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 7.7～8.6 であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 4.0～5.7mg/L、下層で 1.6～2.3mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (4.9mg/L)、調査地点 2 (5.6mg/L) 調査地点 3 (5.7mg/L)、調査地点 4 (4.1mg/L) 及び調査地点 5 (4.0 mg/L) であった。一部の調査地点では事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) の 1.6～4.9mg/L を超過していたが、調査日 (4/21) は調査海域で赤潮は確認できなかったにもかかわらず透明

度が低く、溶存酸素量、全窒素、全磷及びクロロフィル a の値が高いことから、植物プランクトンが異常発生していたと考えられる。そのため、増殖した植物プランクトンが窒素や磷を取り込んで生成した有機物の影響により COD の値が高くなったものであり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 11~13mg/L、下層で 6.7~9.2mg/L の範囲であり、全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.40~0.70mg/L、下層で 0.14~0.19mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 4 (0.70mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全磷 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全磷 (T-P) は上層で 0.040~0.079mg/L、下層で 0.022~0.028mg/L の範囲であり、上層ではほとんどの調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.064mg/L)、調査地点 2 (0.077mg/L)、調査地点 3 (0.054mg/L) 及び調査地点 4 (0.079mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L であり、いずれもこの範囲内にあるため本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層及び下層ともに 2~3 度(カリツ)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 3~5mg/L、下層で 2~3mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 5.5~19µg/L、下層で 1.2~4.0µg/L の範囲であった。

(3) 騒音・低周波空気振動 [騒音・振動様式第 1~4 号]

1) 騒音【環境基準値：昼間 60 デシベル以下、夜間 50 デシベル以下】

騒音レベル (L_{Aeq}) は、昼間 (午前 6 時~午後 10 時) は平均値 48 デシベル、夜間 (午後 10 時~午前 6 時) は平均値 44 デシベルであり、昼間・夜間ともに環境基準値を下回る値であ

った。

2) 低周波空気振動

低周波空気振動の音圧レベル (L_{50}) は、作業時間帯 (午前 9 時～午後 6 時) において平均値 71 デシベルであり、環境影響評価時の予測値 (73 デシベル) を下回る値であった。図-3 に低周波空気振動の音圧レベルの時間推移を示す。

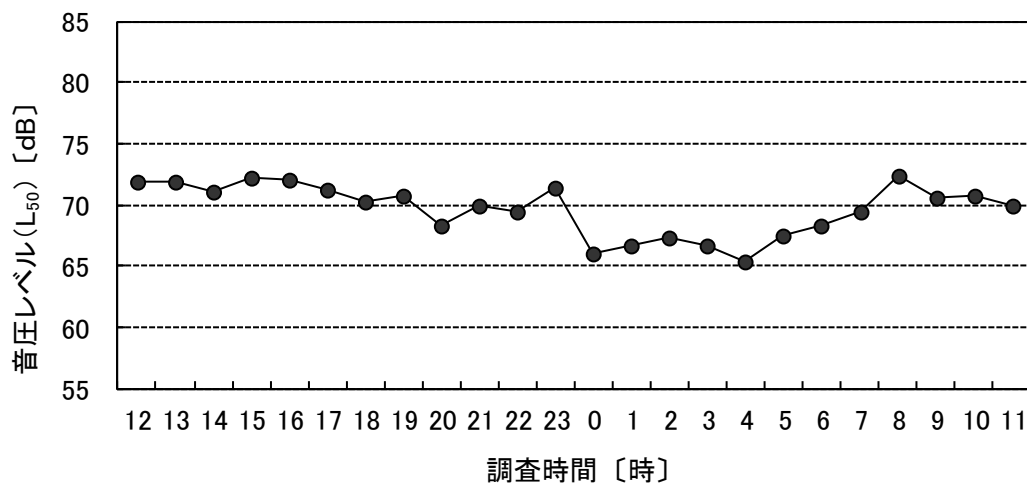


図-3 低周波空気振動の音圧レベル (L_{50}) の時間推移

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmま でのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。

なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音（道路に面する地域以外の地域）

地域の 類型	基準値	
	昼間	夜間
C	60 デジベル以下	50 デジベル以下

注) 1. 時間の区分は以下のとおりである。

昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～午前6時

2. 騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	-
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。

2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。

3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表〔令和4年4月分〕

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	717
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	717
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第2号（埋立地関連）

二酸化硫黄測定結果 [令和4年4月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (金)	0.000	0.001
	2 (土)	0.001	0.002
	3 (日)	0.001	0.002
	4 (月)	0.001	0.001
	5 (火)	0.001	0.004
	6 (水)	0.002	0.003
	7 (木)	0.002	0.003
	8 (金)	0.001	0.003
	9 (土)	0.002	0.002
	10 (日)	0.002	0.004
別	11 (月)	0.002	0.003
	12 (火)	0.001	0.002
	13 (水)	0.002	0.003
	14 (木)	0.001	0.003
	15 (金)	0.003	0.005
	16 (土)	0.005	0.005
	17 (日)	0.005	0.006
	18 (月)	0.006	0.007
	19 (火)	0.006	0.008
	20 (水)	0.007	0.008
値	21 (木)	0.005	0.007
	22 (金)	0.005	0.007
	23 (土)	0.007	0.010
	24 (日)	0.004	0.006
	25 (月)	0.005	0.008
	26 (火)	0.005	0.008
	27 (水)	0.004	0.005
	28 (木)	0.005	0.008
	29 (金)	0.004	0.006
	30 (土)	0.005	0.007
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		717	
月平均値 (ppm)		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.007	
1時間値の最高値 (ppm)		0.010	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [令和4年4月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)	
日	1 (金)	0.003	0.005	
	2 (土)	0.002	0.005	
	3 (日)	0.002	0.004	
	4 (月)	0.002	0.007	
	5 (火)	0.004	0.012	
	別	6 (水)	0.004	0.023
		7 (木)	0.005	0.017
		8 (金)	0.004	0.025
		9 (土)	0.003	0.012
		10 (日)	0.002	0.004
11 (月)		0.004	0.011	
12 (火)		0.012	0.067	
13 (水)		0.010	0.042	
14 (木)		0.003	0.011	
15 (金)		0.003	0.008	
値	16 (土)	0.002	0.003	
	17 (日)	0.002	0.002	
	18 (月)	0.004	0.012	
	19 (火)	0.003	0.019	
	20 (水)	0.005	0.017	
	21 (木)	0.005	0.021	
	22 (金)	0.003	0.008	
	23 (土)	0.004	0.024	
	24 (日)	0.002	0.003	
	25 (月)	0.005	0.018	
26 (火)	0.009	0.061		
27 (水)	0.005	0.024		
28 (木)	0.003	0.007		
29 (金)	0.002	0.003		
30 (土)	0.002	0.002		
有効測定日数 (日)		30		
測定時間 (時間)		717		
月平均値 (ppm)		0.004		
日平均値の最高値 (ppm)		0.012		
1時間値の最高値 (ppm)		0.067		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [令和4年4月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1 時間値の最高値 (ppm)
日 別	1 (金)	0.011	0.021
	2 (土)	0.016	0.040
	3 (日)	0.013	0.020
	4 (月)	0.015	0.028
	5 (火)	0.025	0.058
	6 (水)	0.025	0.046
	7 (木)	0.031	0.053
	8 (金)	0.032	0.075
	9 (土)	0.023	0.040
	10 (日)	0.016	0.027
	11 (月)	0.025	0.036
	12 (火)	0.025	0.043
	13 (水)	0.022	0.033
	14 (木)	0.019	0.039
	15 (金)	0.014	0.025
値	16 (土)	0.008	0.012
	17 (日)	0.014	0.043
	18 (月)	0.025	0.039
	19 (火)	0.030	0.063
	20 (水)	0.034	0.064
	21 (木)	0.033	0.050
	22 (金)	0.018	0.037
	23 (土)	0.023	0.049
	24 (日)	0.018	0.033
	25 (月)	0.024	0.050
	26 (火)	0.018	0.045
	27 (水)	0.015	0.025
	28 (木)	0.024	0.052
	29 (金)	0.009	0.019
	30 (土)	0.009	0.017
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		717	
月平均値 (ppm)		0.020	
日平均値の最高値 (ppm)		0.034	
1時間値の最高値 (ppm)		0.075	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和4年4月分]

測定局		南港中央公園			
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)	
		(ppm)	NO ₂ /(NO+NO ₂)(%)		
日	1 (金)	0.014	81.0	0.026	
	2 (土)	0.018	87.8	0.042	
	3 (日)	0.015	86.0	0.024	
	4 (月)	0.018	86.1	0.035	
	5 (火)	0.029	86.6	0.064	
	別	6 (水)	0.029	86.3	0.063
		7 (木)	0.036	86.1	0.070
		8 (金)	0.036	88.3	0.100
		9 (土)	0.026	88.9	0.051
		10 (日)	0.017	90.5	0.029
値	11 (月)	0.029	86.9	0.047	
	12 (火)	0.037	67.4	0.110	
	13 (水)	0.032	68.3	0.074	
	14 (木)	0.023	85.3	0.047	
	15 (金)	0.017	83.2	0.033	
	16 (土)	0.010	80.5	0.015	
	17 (日)	0.016	88.4	0.045	
	18 (月)	0.029	86.7	0.048	
	19 (火)	0.033	91.2	0.072	
	20 (水)	0.039	87.6	0.079	
値	21 (木)	0.039	86.0	0.069	
	22 (金)	0.021	87.2	0.039	
	23 (土)	0.028	85.2	0.061	
	24 (日)	0.019	91.2	0.035	
	25 (月)	0.029	84.0	0.057	
	26 (火)	0.027	65.4	0.106	
	27 (水)	0.019	76.0	0.049	
	28 (木)	0.027	89.1	0.058	
	29 (金)	0.011	84.1	0.022	
	30 (土)	0.010	84.9	0.018	
有効測定日数 (日)		30			
測定時間 (時間)		717			
月平均値 (ppm)		0.024			
日平均値の最高値 (ppm)		0.039			
1時間値の最高値 (ppm)		0.110			
月平均値 NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		84			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂/(NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO₂/(NO+NO₂) =

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /
(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第6号（埋立地関連）

浮遊粒子状物質測定結果 [令和4年4月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)	
日	1 (金)	0.009	0.012	
	2 (土)	0.011	0.015	
	3 (日)	0.008	0.015	
	4 (月)	0.010	0.013	
	5 (火)	0.011	0.015	
	6 (水)	0.016	0.024	
	7 (木)	0.023	0.032	
	8 (金)	0.024	0.040	
	9 (土)	0.024	0.032	
	10 (日)	0.031	0.056	
	11 (月)	0.027	0.050	
	12 (火)	0.019	0.036	
	13 (水)	0.013	0.022	
	14 (木)	0.014	0.021	
	15 (金)	0.004	0.009	
別	16 (土)	0.009	0.015	
	17 (日)	0.012	0.015	
	18 (月)	0.011	0.013	
	19 (火)	0.019	0.029	
	20 (水)	0.029	0.040	
	21 (木)	0.021	0.029	
	22 (金)	0.013	0.020	
	23 (土)	0.020	0.032	
	24 (日)	0.020	0.034	
	25 (月)	0.015	0.028	
	値	26 (火)	0.016	0.026
		27 (水)	0.013	0.025
		28 (木)	0.015	0.021
		29 (金)	0.008	0.016
		30 (土)	0.009	0.014
有効測定日数 (日)		30		
測定時間 (時間)		716		
月平均値 (mg/m ³)		0.016		
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.031		
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.056		
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）〔令和4年4月分〕

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (金)	1.9	2.8	NNE, N	NNE
	2 (土)	1.0	2.8	W	WNW
	3 (日)	1.4	2.2	NE, ENE	NE
	4 (月)	1.3	2.8	WSW, N	NNE
	5 (火)	1.1	2.0	WSW	WNW
	6 (水)	1.1	2.7	W	SW
	7 (木)	1.4	3.9	WSW	W
	8 (金)	1.0	3.4	W	WSW
	9 (土)	1.5	3.7	WSW	WNW
	10 (日)	1.2	2.5	WSW	WNW
別	11 (月)	1.1	2.8	WNW	WNW
	12 (火)	1.3	2.9	WSW	WNW
	13 (水)	0.8	1.5	W, SW	W
	14 (木)	1.0	1.9	W	NNE
	15 (金)	1.4	2.5	N	N
	16 (土)	1.6	2.3	NNW, NW	NW
	17 (日)	0.8	1.9	WNW, WSW	NW
	18 (月)	0.9	1.6	WNW	ENE
	19 (火)	0.8	2.0	W	W
	20 (水)	1.0	2.9	WSW	WSW
値	21 (木)	0.7	1.9	ESE	ENE
	22 (金)	1.0	1.9	WSW	WSW
	23 (土)	0.8	2.0	SW	WSW
	24 (日)	0.5	1.3	ENE	ENE
	25 (月)	0.8	1.6	WSW	W
	26 (火)	1.3	2.8	SW	SW
	27 (水)	1.2	1.9	N	N
	28 (木)	0.7	1.4	WSW	NNE
	29 (金)	1.0	2.0	NNW	NW
	30 (土)	1.0	2.2	W	NW
測定時間 (時間)		720			
月平均風速 (m/s)		1.1			
月最大風速 (m/s)		3.9			
月最多風向 (16方位)		WNW			

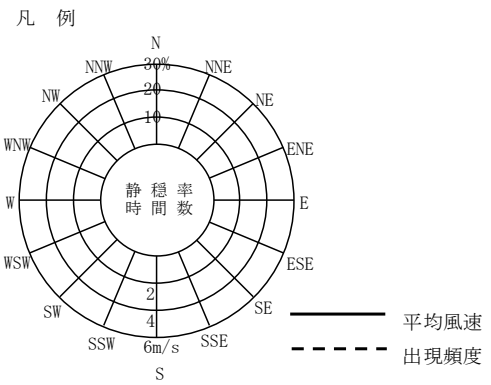
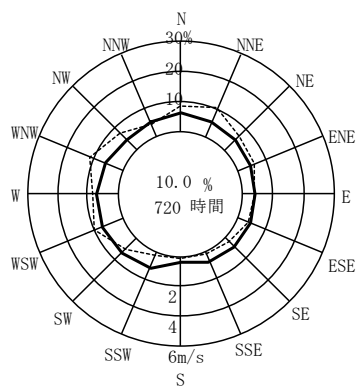
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和4年4月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	75	45	41	26	26	10	5	4	10	34	73	60	86	57	34	62	72	720
頻度 (%)	10.4	6.3	5.7	3.6	3.6	1.4	0.7	0.6	1.4	4.7	10.1	8.3	11.9	7.9	4.7	8.6	10.0	-
平均風速 (m/s)	1.1	1.0	0.9	0.8	0.9	0.8	0.7	0.4	1.1	1.4	1.5	1.4	1.3	1.0	1.1	1.3	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和4年4月分]

水質様式第 1 号

水質調査結果（一般項目）[令和 4 年 4 月分]

調査日：令和4年4月21日

調査点		1	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
項目										
時刻		8:15	7:50	8:32	9:04	8:52	-		-	
透明度	[m]	1.8	1.7	1.9	1.9	2.0	1.7	～	2.0	1.9
水温		15.9	15.6	15.4	15.8	15.5	15.4	～	15.9	15.6
	[°C]	13.7	13.3	13.7	13.7	13.7	13.3	～	13.7	13.6
塩分		30.1	29.5	30.5	27.8	30.0	27.8	～	30.5	29.6
	[-]	32.9	32.6	32.9	32.9	32.9	32.6	～	32.9	32.8
濁度		3	2	2	2	2	2	～	3	2
	[度(カサ)]	2	2	2	2	3	2	～	3	2
浮遊物質 (SS)		5	5	4	3	3	3	～	5	4
	[mg/L]	2	3	3	3	3	2	～	3	3
水素イオン濃度 (pH)		8.4	8.4	8.5	8.5	8.4	8.4	～	8.5	-
	[-]	8.1	8.0	8.1	8.1	8.1	8.0	～	8.1	-
化学的酸素要求量 (COD)		4.9	5.6	5.7	4.1	4.0	4.0	～	5.7	4.9
	[mg/L]	2.0	1.8	1.6	2.3	2.0	1.6	～	2.3	1.9
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	13	12	13	11	13	11	～	13	12
	飽和度 [%]	8.2	6.7	8.1	9.2	8.3	6.7	～	9.2	8.1
全窒素 (T-N)		0.55	0.58	0.53	0.70	0.40	0.40	～	0.70	0.55
	[mg/L]	0.16	0.15	0.15	0.19	0.14	0.14	～	0.19	0.16
全磷 (T-P)		0.064	0.077	0.054	0.079	0.040	0.040	～	0.079	0.063
	[mg/L]	0.024	0.024	0.022	0.025	0.028	0.022	～	0.028	0.025
クロロフィル a (chl. a)		19	13	15	7.2	5.5	5.5	～	19	12
	[μg/L]	4.0	2.2	1.2	2.1	1.6	1.2	～	4.0	2.2

注) 上段：上層 (海面下1m)
下段：下層 (海底面上2m)

特記事項

騒音・振動様式第1号（埋立地関連）

環境騒音調査結果総括表[令和4年4月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：令和4年4月27日午後0時～4月28日午後0時

時間 区分	騒音レベル (デシベル)												主音源
	L _{A5}			L _{A50}			L _{A95}			L _{Aeq}			
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
昼間	51	48	57	47	45	49	44	42	47	48	46	52	鳥、車両、船舶、周辺施設
夜間	46	43	52	42	40	44	39	38	41	44	41	48	鳥、車両、船舶

注：1. L_{A5}、L_{A50}、L_{A95}の平均値は算術平均値、L_{Aeq}の平均値はパワー平均値である。

2. 時間区分は、昼間は午前6時から午後10時、夜間は午後10時から午前6時までの間とする。

騒音・振動様式第2号（埋立地関連）

環境騒音調査結果総括表[令和4年4月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：令和4年4月27日～28日

調査時間	時間の区分	地域の類型	環境基準値	騒音レベル (デシベル)				主音源
				L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	
12:00	昼間	C	60dB	52	46	44	49	鳥、車両、船舶
13:00				51	47	46	49	鳥、車両、船舶、周辺施設
14:00				51	48	46	49	鳥、車両、船舶、周辺施設
15:00				53	49	47	50	鳥、車両、船舶、周辺施設
16:00				57	49	47	52	鳥、車両、船舶、周辺施設
17:00				51	48	46	50	鳥、車両、船舶、周辺施設
18:00				50	47	45	47	鳥、車両、船舶、周辺施設
19:00				51	47	45	48	車両、船舶、周辺施設
20:00				48	46	44	46	車両、船舶
21:00				49	46	43	46	車両、船舶
22:00	夜間	C	50dB	48	43	41	44	車両、船舶
23:00				46	43	40	43	車両、船舶
00:00				43	40	39	41	車両、船舶
01:00				44	41	39	41	車両、船舶
02:00				44	41	39	41	車両、船舶
03:00				44	40	38	41	車両、船舶
04:00				44	40	39	41	鳥、車両、船舶
05:00	52	44	40	48	鳥、車両、船舶			
06:00	昼間	C	60dB	55	46	43	50	鳥、車両、船舶
07:00				51	45	43	47	鳥、車両、船舶
08:00				49	46	44	47	鳥、車両、船舶、周辺施設
09:00				49	46	45	47	鳥、車両、船舶、周辺施設
10:00				50	45	43	46	鳥、車両、船舶、航空機、周辺施設
11:00				49	45	42	46	鳥、車両、船舶、周辺施設
最小値				43	40	38	41	
最大値				57	49	47	52	
平均値				49	45	43	47	

注：1. L_{A5}、L_{A50}、L_{A95}の平均値は算術平均値、L_{Aeq}の平均値はパワー平均値である。

注：2. 環境基準はL_{Aeq}である。

騒音・振動様式第3号（埋立地関連）

低周波空気振動調査結果総括表[令和4年4月分]

騒音・振動様式第3号（埋立地関連）

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：令和4年4月27日午後0時～4月28日午後0時

音圧レベル（デシベル）												風速 (m/s)	
L ₅			L ₅₀			L ₉₅			L _{max}				
平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	最小	最大
74	73	74	71	70	72	70	68	71	77	75	80	0.3	0.9

注：1. 平均値は算術平均値である。

注：2. 作業時間帯（午前9時から午後6時までの間）の結果を表している。

低周波空気振動調査結果総括表[令和4年4月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日：令和4年4月27日～28日

調査 時間	音圧レベル (デシベル)				風速 (m/s)	
	L ₅	L ₅₀	L ₉₅	L _{max}	最小	最大
12:00	74	72	70	76	0.5	0.7
13:00	74	72	71	75	0.4	0.6
14:00	73	71	69	77	0.3	0.5
15:00	74	72	71	79	0.4	0.6
16:00	74	72	71	80	0.5	0.9
17:00	74	71	70	77	0.6	0.8
18:00	73	70	68	76	0.6	0.8
19:00	72	71	70	77	0.6	0.9
20:00	70	68	67	76	0.6	1.0
21:00	73	70	68	77	0.6	0.8
22:00	71	69	67	76	0.2	0.6
23:00	73	71	70	76	0.2	0.4
0:00	67	66	65	71	0.2	0.4
1:00	68	67	66	70	0.2	0.3
2:00	68	67	66	69	0.2	0.4
3:00	68	67	65	70	0.1	0.3
4:00	66	65	64	71	0.2	0.4
5:00	69	67	67	71	0.2	0.4
6:00	70	68	67	73	0.2	0.5
7:00	71	69	69	72	0.2	0.4
8:00	74	72	71	77	0.4	0.6
9:00	73	71	69	76	0.5	0.7
10:00	73	71	69	76	0.5	0.7
11:00	73	70	68	76	0.5	0.8
最小値	66	65	64	69	0.1	0.3
最大値	74	72	71	80	0.6	1.0
平均値	72	70	68	75	0.4	0.6